

少子化に伴い年間約500校の廃校が生じており、廃校施設は地方公共団体にとって貴重な財産であることから地域の実情やニーズにより有効活用することが求められています。

近年は、企業が廃校施設を工場やオフィスなどに活用する取組が増えており、廃校活用について地域からの要望がない自治体については、企業を誘致することで雇用の促進、人口流入など地域の活性化につながっている事例も見られることから、廃校施設を企業が活用している事例を集めパンフレットを作成し、更なる活用の促進を図っています。

## 1. パンフレットのポイント

パンフレットでは廃校施設の活用に至るまでの経緯や活用するメリットを記載し、企業が行う廃校施設の活用についてイメージしやすい構成としています。

(パンフレットのレイアウト例)

### ○主な活用に至るまでの経緯

- ・公募に参加
- ・自治体に対して企業側から事業提案を実施 等

### ○主なメリット

- ・既存建物を利用するため、設備投資の軽減や事業の早期着手が可能
- ・体育館など大きいスペースを利用して高い生産量の確保が可能
- ・教室ごとに間仕切られた空間が使い易い
- ・廃校を活用しているという話題性・メディアからの注目などPR効果
- ・静かな環境で業務

等



## 2. パンフレットに掲載している活用事例(抜粋)

### 地域コミュニティ施設として活用(千葉県南房総市)

市が活用希望者の公募を実施し活用に至った事例。廃校施設を貸しオフィスや簡易宿泊所等として活用、また校庭には小屋付きの市民農園を整備し、新たな交流の場として地域活性化に取り組んでいる。



### ドローンの製造工場として活用(山梨県身延町)

卒業生が母校の廃校を聞きつけ、町に対して事業提案し活用に至った事例。廃校施設をドローンの開発・製造工場として活用している。体育館の広いスペースが飛行訓練等に適している。



### IT関連企業の事務所として活用(長崎県南島原市)

市から事業者へ活用方法を提案することで活用に至った事例。廃校施設を事務所として活用し、ウェブデザインやグラフィックデザインを含めたウェブページの制作や島原半島地域を中心とした地場企業の求人情報を発信するサイトを運営している。



### 研修施設等として活用(福島県須賀川市)

地元企業が市に事業提案し活用に至った事例。廃校施設を社員研修施設、国内外の管理職社員を集めての会議場や水耕栽培実験工場として活用している。また、地域住民との交流を目的とした催事拠点としても活用されている。



パンフレットは文部科学省ホームページに掲載中

みんなの廃校

検索

